

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 72

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	校舎等整備事業(学校施設整備事業)	担当部署	教育委員会総務課
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備		
対象	小中学校		
手段(方法)	老朽化等により不具合が生じている施設の整備を行う		
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	老朽化に伴う校舎等の整備を行うことにより、児童生徒の教育環境の向上と学習意欲を高める		
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	学校教育法、地方教育行政法、赤穂市立小学校及び中学校の設置及び管理に関する条例等		
その他実施の根拠			
始期・終期	年度 ~	年度	
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	小中学校の営繕を適切に行った	達成状況 100 %
	30年度実績	小中学校の営繕を適切に行った	達成状況 100 %
	元年度計画	小中学校の営繕を適切に行う	達成状況 - %
	元年度実績	小中学校の営繕を適切に行った	達成状況 100 %
	2年度計画	小中学校の営繕を適切に行う	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
小学校施設整備事業		赤小営繕外8校	城西小営繕外5校	赤小営繕外9校	城西小営繕外4校	赤小営繕外9校
中学校施設整備事業		赤中営繕外2校	赤中営繕外2校	赤中営繕外4校	赤穂西中営繕外3校	赤中営繕外4校
小学校特別管理産業廃棄物						小学校10校
中学校特別管理産業廃棄物						中学校5校
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
小学校施設整備事業		5,971,320	3,975,480	4,000,000	3,758,400	5,320,000
中学校施設整備事業		4,924,800	18,929,160	6,500,000	5,821,200	6,840,000
小学校特別管理産業廃棄物						2,680,000
中学校特別管理産業廃棄物						8,760,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債		11,200,000			
	その他					
	一般財源	10,896,120	11,704,640	10,500,000	9,579,600	23,600,000
直接事業費総額		10,896,120	22,904,640	10,500,000	9,579,600	23,600,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	182	182	182	182	14
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					168
人件費総額		3,458,000	3,458,000	3,458,000	3,458,000	1,425,200
総事業費計		14,354,120	26,362,640	13,958,000	13,037,600	25,025,200
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	工事箇所・規模による減				
	元年度予算と2年度予算の比較	工事箇所・規模及びエアコン整備に伴うPCB含有廃棄物処分経費による増				

**3 事務事業に関する自己診断(CHECK)**

事務事業遂行上の課題	学校施設の老朽化に伴う危険箇所等の改善要望が多くある中、限られた予算内で十分な対応が追いつかない状況にある。				
市民のニーズ・満足度	学校からの要望事項に対し予算が限られているため満足度はあまり高くない。				
連携事業	教育施設営繕事業				
関連事業					
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり				
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業				
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある				
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )				
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	3	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている				
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄		
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入	1			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )					

**4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)**

事務事業実施による成果と課題				
次年度予算への見直し方針	施設の老朽化は進んでいるが、大規模改造等により安全面に重点を置いた整備が望まれる。			
関連部課等との協議状況	常に行っている			
関連部課	都市整備課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持) ▼		
	営繕を重点的に実施することにより効果を上げる。			

**5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)**

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )				
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持) ▼			
	2年度の取り組み方針	学校施設の老朽箇所を把握し、個別施設計画に基づき効果的な整備を図る。			
	3年度以降の展開方針	公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき整備を図る。			
部長の確認所見	公共施設総合管理計画及び個別施設計画に基づき、計画的な施設整備を図る。				

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 74

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	大型備品等整備事業	担当部署	教育委員会総務課			
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備					▼
対象	小中学校					
手段(方法)	老朽化の著しい大型管理備品の更新及び整備を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	備品整備を行うことにより、児童、生徒の教育環境の向上と学習意欲を高める。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	学校教育法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	児童、生徒の教育環境の向上のため、支障となる老朽化した備品の更新を行う。					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	年次計画に基づき整備を行った			達成状況	100 %
	30年度実績	年次計画に基づき整備を行った			達成状況	100 %
	元年度計画	年次計画に基づき整備を行う			達成状況	- %
	元年度実績	年次計画に基づき整備を行った			達成状況	100 %
	2年度計画	年次計画に基づき整備を行う			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
小学校大型管理備品		10校	10校	10校	10校	10校
中学校大型管理備品		5校	5校	5校	5校	5校
小学校大型教材備品		10校	10校	10校	10校	10校
中学校大型教材備品		5校	5校	5校	5校	5校
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
小学校大型管理備品		1,643,112	1,934,490	2,600,000	2,590,096	1,300,000
中学校大型管理備品		1,422,457	4,343,112	1,800,000	1,794,204	1,200,000
小学校大型教材備品		1,555,647	1,449,662	1,300,000	1,287,384	1,300,000
中学校大型教材備品		939,869	948,956	800,000	774,547	800,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	5,561,085	8,676,220	6,500,000	6,446,231	4,600,000
直接事業費総額		5,561,085	8,676,220	6,500,000	6,446,231	4,600,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	24	24	19	19	19
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	2	2			
人件費総額		469,400	469,600	361,000	361,000	361,000
総事業費計		6,030,485	9,145,820	6,861,000	6,807,231	4,961,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	平成30年度に中学校でストップ、令和元年度に小中学校で印刷機を購入したため				
	元年度予算と2年度予算の比較	令和元年度に小中学校で印刷機を購入したため				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	学校間に格差がないように備品の購入配分を行うこと
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
手段の妥当性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	限られた予算の中でより有益な備品整備を行えるよう各校と調整していきたい。
次年度予算への見直し方針	各校の要望をしっかりと把握した上で予算要求していく。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 今後も備品の更新等が順次必要と考えられるため、学校間のバランスを考慮(改善)しながら、備品整備に努めたい。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 学校の要望等に基づき、計画的に備品整備を進める。
	3年度以降の展開方針 年次計画により、計画的な備品整備を進める。
部長の確認所見	優先順位を決めて、計画的な備品整備を行う。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 76

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	学校施設安全対策事業	担当部署	教育委員会総務課
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備 ▼		
対象	小中学校		
手段(方法)	プールの老朽化に伴い生じている危険について集中的に改修する。		
手法(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	学校施設の安全性の確保。		
実施の必要性(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	27 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	プール改修、防球ネット設置、フェンス設置、自動火災報知設備	達成状況 100 %
	30年度実績	プール改修、ブロック塀改修、防排煙制御設備改修	達成状況 100 %
	元年度計画	プール順次改修	達成状況 - %
	元年度実績	プール改修	達成状況 100 %
	2年度計画	プール改修、非常用放送設備修繕	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
小学校		プール改修、運動場防球ネット設置	プール改修、ブロック塀改修、防排煙制御設備改修			非常用放送設備修繕
中学校		プール改修、プールフェンス設置、自動火災報知設備改修	プール改修、ブロック塀改修、防排煙制御設備改修	プール改修	プール改修	プール改修
直接事業費 単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
小学校 修繕						
小学校 工事		11,108,880	20,106,360			3,500,000
小学校 備品購入						
中学校 工事		11,782,800	16,237,800	13,900,000	13,860,000	16,000,000
財源内訳						
	国県支出金					
	地方債	12,900,000	12,200,000	10,300,000	10,300,000	12,000,000
	その他					
	一般財源	9,991,680	24,144,160	3,600,000	3,560,000	7,500,000
直接事業費総額		22,891,680	36,344,160	13,900,000	13,860,000	19,500,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	48	48	48	48	24
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					24
人件費総額		912,000	912,000	912,000	912,000	621,600
総事業費計		23,803,680	37,256,160	14,812,000	14,772,000	20,121,600
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	実施個所による				
	元年度予算と2年度予算の比較	実施個所による				

3 事務事業に関する自己診断 (CHECK)	
事務事業遂行上の課題	学校の要望等に基づき、現状確認のうえ、主として順次プール改修を進める。
市民のニーズ・満足度	早期完了
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒⇒⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価 (CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	各校の要望と現状に基づいて次年度の予算に反映し、適切な対応を行う。
次年度予算への見直し方針	プールの改修を主として継続する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続 (現状維持) ▼
	各校の要望と現状に基づいて次年度の予算に反映し、適切な対応を行う。
5 二次評価 課長の評価 (CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続 (現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 学校の要望に基づき、プールの改修を主として継続する。
	3年度以降の展開方針 各校の要望と現状に基づき、適切な対応を行う。
部長の確認所見	学校施設安全対策については、各校の要望と現状に基づき、適切に実施する。

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 77

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常					
事務事業名称	空調設備整備事業		担当部署	教育委員会総務課			
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備					▼	
対象	小中学校						
手段(方法)	国庫補助事業を活用し、教室に空調設備を整備する。						
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	近年、夏季に限らず5月から10月頃にかけて異常と思われる暑さとなり、学校生活における健康面への影響や学習環境改善が急務となっている。それらの課題解決を図るため、学校の普通教室等に空調和設備を設置する。						
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務			
根拠法令・条例等							
その他実施の根拠	赤穂市立小中学校空調設備運用指針						
始期・終期	元 年度 ~ 元 年度						
到達目標(根拠数式・数値又は文章)							
単年度目標(達成状況)	29年度実績					達成状況	%
	30年度実績					達成状況	%
	元年度計画	小中学校と整備箇所を調整し、普通教室等に空調設備を整備する				達成状況	- %
	元年度実績	小中学校と整備箇所を調整し、普通教室等に空調設備を整備した				達成状況	100 %
	2年度計画					達成状況	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
小学校への整備				550,000,000	470,295,100	
中学校への整備				310,000,000	288,839,100	
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
小学校費				550,000,000	470,295,100	
中学校費				310,000,000	288,839,100	
財源内訳	国県支出金			135,793,000	135,589,000	
	地方債			724,100,000	623,200,000	
	その他					
	一般財源	0	0	107,000	345,200	0
直接事業費総額		0	0	860,000,000	759,134,200	0
人件費:人日数	一般職員:人日数			84	84	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		0	0	1,596,000	1,596,000	0
総事業費計		0	0	861,596,000	760,730,200	0
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	令和元年度単年での整備のため				
	元年度予算と2年度予算の比較	令和元年度単年での整備のため				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	設備を清潔に利用するため、フィルターの掃除等を定期的実施を促す
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	学校教育課
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	酷暑であっても整備を実施した教室等では、熱中症リスクを回避しながら授業を行うことができる。
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	
関連部課	都市計画課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="6"/> 休止
	令和元年度に予定した設備整備は終了のため休止とする。今後、未整備教室等への整備を検討する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 <input type="text" value="6"/> 休止
今後の方向性	2年度の取り組み方針 空調設備運用方針に基づき、環境負荷低減及び児童・生徒の健康に配慮した適切な運用を図る。
	3年度以降の展開方針 未設置教室については、必要性や教育施設整備状況全体の優先順位及び財政状況を勘案し、対応を検討する。
部長の確認所見	エアコン未設置の特別教室への整備については、使用頻度や財源的な問題等を考慮しながら対応を検討していく。



令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 78

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	デジタルテレビ整備事業	担当部署	教育委員会総務課			
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-情報教育の推進					▼
対象	小中学校					
手段(方法)	小中学校の各教室にデジタルテレビを5年リースにより整備する。					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	デジタルテレビを各教室に整備し、デジタル教材等を活用した授業形態を創造し、より分かる授業の実現に取り組む。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	26	年度	～	31	年度	
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	小中学校の各教室にデジタルテレビを5年リースにより整備する。			達成状況	100 %
	30年度実績	小中学校の各教室にデジタルテレビを5年リースにより整備する。			達成状況	100 %
	元年度計画	小中学校の各教室にデジタルテレビを5年リースにより整備する。			達成状況	- %
	元年度実績	小中学校の各教室にデジタルテレビを5年リースにより整備する。			達成状況	100 %
	2年度計画	小中学校の各教室にデジタルテレビを5年リースにより整備する。			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
小学校への整備		4,652,640	4,652,640	4,265,000	4,264,920	
中学校への整備		3,195,936	3,195,936	3,196,000	3,195,936	2,664,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
小学校費		4,652,640	4,652,640	4,265,000	4,264,920	
中学校費		3,195,936	3,195,936	3,196,000	3,195,936	2,664,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	7,848,576	7,848,576	7,461,000	7,460,856	2,664,000
直接事業費総額		7,848,576	7,848,576	7,461,000	7,460,856	2,664,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	7		4	4	4
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数		2			
人件費総額		133,000	13,600	76,000	76,000	76,000
総事業費計		7,981,576	7,862,176	7,537,000	7,536,856	2,740,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	小学校リース満了につき11か月分の予算のため				
	元年度予算と2年度予算の比較	リース満了のため				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	デジタルテレビを効果的に活用し、教育内容を充実させる。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	情報教育推進事業
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考える事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	26年度に全小学校・27年度に全中学校への整備を行った。
次年度予算への見直し方針	令和2年度にリースを満了するが、使用を継続し効果的な学習の充実を図る。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="終了"/> ▼
	リース期間が満了後も修理等行い引き続き使用していく。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 <input type="text" value="終了"/> ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 リース満了後も使用を継続し、学習内容の充実を図る。
	3年度以降の展開方針 リース満了後も使用を継続し、学習内容の充実を図る。
部長の確認所見	リース満了後も継続的に使用し、効果的な活用に努める。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 79

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常					
事務事業名称	防犯カメラ設置事業	担当部署	教育委員会総務課				
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備					▼	
対象	小中学校						
手段(方法)	学校設置者が備品として、小中学校に防犯カメラを設置する。						
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	犯罪に対する抑止力、治安維持の促進及び安全で安心な学校施設の実現						
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務			
根拠法令・条例等	赤穂市防犯カメラ等の設置及び運用に関する要綱						
その他実施の根拠	赤穂市立小中学校防犯カメラ等管理運用基準						
始期・終期	元 年度 ~ 元 年度						
到達目標(根拠数式・数値又は文章)							
単年度目標(達成状況)	29年度実績			達成状況		%	
	30年度実績			達成状況		%	
	元年度計画	子供たちが登校に利用する校門付近に防犯カメラを設置する。			達成状況	-	%
	元年度実績	子供たちが登校に利用する校門付近に防犯カメラを設置した。			達成状況	100	%
	2年度計画			達成状況		%	

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
小学校への整備				6,200,000	2,838,000	
中学校への整備				3,100,000	1,441,000	
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
小学校費				6,200,000	2,838,000	
中学校費				3,100,000	1,441,000	
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	0	0	9,300,000	4,279,000	0
直接事業費総額		0	0	9,300,000	4,279,000	0
人件費:人日数	一般職員:人日数			24	24	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		0	0	456,000	456,000	0
総事業費計		0	0	9,756,000	4,735,000	0
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	令和元年度単年での整備のため				
	元年度予算と2年度予算の比較	令和元年度単年での整備のため				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	個人情報保護の観点から開示請求等への対応
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
執行体制の効率性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
有効性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	犯罪に対する抑止力、治安維持の促進及び安全で安心な学校施設の実現
次年度予算への見直し方針	次年度以降は、学校の管理責任者及び操作取扱者に動作確認を依頼し適正な管理を行う
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 終了 ▼
	整備を終えたため、今後は適正な管理を行うとともに、耐用年数経過時に更新を検討する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 終了 ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 赤穂市立小中学校防犯カメラ等管理運用基準に基づき、適正な管理及び運用を図る。
	3年度以降の展開方針 赤穂市立小中学校防犯カメラ等管理運用基準に基づき、適正な管理及び運用を図る。
部長の確認所見	市要綱及び小中学校管理運用基準に基づき、個人情報の取り扱いにも十分留意し、適正な管理及び運用を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 81

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	坂越中学校整備事業	担当部署	教育委員会総務課
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備		
対象	坂越中学校整備事業		
手段(方法)	浜市土地区画整理事業特別保留地取得		
手法(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	浜市土地区画整理事業特別保留地を計画的に取得する。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	24 年度 ~ 1 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	特別保留地を取得した	達成状況 100 %
	30年度実績	特別保留地を取得した	達成状況 100 %
	元年度計画	特別保留地を取得する	達成状況 - %
	元年度実績	特別保留地を取得した	達成状況 100 %
	2年度計画		達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
特別保留地取得 3,037㎡						
特別保留地取得 1,614㎡		坂越中学校	坂越中学校	坂越中学校	坂越中学校	
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
公有財産購入費		25,000,000	25,000,000	15,044,000	15,044,000	
工事請負費		3,888,000				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	28,888,000	25,000,000	15,044,000	15,044,000	0
直接事業費 総額		28,888,000	25,000,000	15,044,000	15,044,000	0
人件費:人日数	一般職員:人日数	12		4	4	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数		2			
人件費 総額		228,000	13,600	76,000	76,000	0
総事業費 計		29,116,000	25,013,600	15,120,000	15,120,000	0
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	購入面積に差があるため。				
	元年度予算と2年度予算の比較	事業終了のため。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
有効性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 終了 ▼
	令和元年度で取得終了
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 終了 ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 令和元年度で取得終了。
	3年度以降の展開方針
部長の確認所見	令和元年度で取得終了。

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 305

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	情報教育推進事業(事務局・小学校・中学校)		担当部署	教育委員会総務課		
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-情報教育の推進					▼
対象	小中学校の児童、生徒、教師					
手段(方法)	小中学校に設置している、パソコン等の整備及び保守管理を行い、使用環境を充実させる。					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	コンピュータ授業の充実を図ることにより、児童生徒の情報処理能力を向上させる					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	パソコンの整備及び保守管理を適正に行った。			達成状況	100 %
	30年度実績	パソコンの整備及び保守管理を適正に行った。			達成状況	100 %
	元年度計画	パソコンの整備及び保守管理を適正に行う。			達成状況	- %
	元年度実績	パソコンの整備及び保守管理を適正に行った。			達成状況	100 %
	2年度計画	GIGAスクール構想の実現に向け、設備・環境の整備を行う。			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
小学校整備校数		10校	10校	10校	10校	10校
中学校整備校数		5校	5校	5校	5校	5校
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事務局費		17,287,222	17,995,944	14,466,000	14,477,010	11,940,000
小学校費		54,998,187	62,390,508	42,500,000	42,209,748	36,800,000
中学校費		33,320,754	43,129,032	44,800,000	44,555,281	44,900,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	105,606,163	123,515,484	101,766,000	101,242,039	93,640,000
直接事業費総額		105,606,163	123,515,484	101,766,000	101,242,039	93,640,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	36	12	19	19	19
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		684,000	228,000	361,000	361,000	361,000
総事業費計		106,290,163	123,743,484	102,127,000	101,603,039	94,001,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	既存設備保守の延長により、新規リースを先送りにしたため。				
	元年度予算と2年度予算の比較	既存設備保守の延長により、新規リースを先送りにしたため。				

### 3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	1人に1台整備したPC端末を活かした授業を行うため、環境・設備の整備を図る必要がある。		
市民のニーズ・満足度			
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		

### 4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	令和2年度中に整備を行う校舎内LAN及び1人1台端末の今後の活用		
次年度予算への見直し方針	従来のPC教室用パソコン整備は実施せず、GIGAスクールにより整備するLANや端末を活かした授業が行えるよう、周辺機器や環境の整備を図る。		
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	1継続(拡充)	▼
	GIGAスクール構想の実現に向け、今後1人1台端末の活用方法の検討を進めるとともに、個別最適化された学びのためのハード・ソフトの充実を図る。		

### 5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		
今後の方向性	右の該当を選択	1継続(拡充)	▼
	2年度の取り組み方針	GIGAスクール構想の実現に向け、情報教育環境の整備に努める。	
	3年度以降の展開方針	ICT教育を充実させるため、計画的に情報機器の整備を図る。	
部長の確認所見	計画的にICT環境の整備を図る。		



令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 306

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常					
事務事業名称	トランペット鼓隊等楽器整備事業		担当部署	教育委員会総務課			
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備					▼	
対象	小学校						
手段(方法)	老朽化した楽器の修理及び更新整備を行うことにより、児童の教育環境の向上と学習意欲を高める。						
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金					
意図(ねらい)	備品整備を行うことにより、児童の教育環境の向上と学習意欲を高める。						
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務					
根拠法令・条例等	学校教育法						
その他実施の根拠							
始期・終期	年度	～	年度				
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	児童の教育環境の向上のため、老朽化した楽器の更新等を行う。						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。				達成状況	100 %
	30年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。				達成状況	100 %
	元年度計画	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行う。				達成状況	- %
	元年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。				達成状況	100 %
	2年度計画	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行う。				達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
楽器の更新整備、修繕		6校	6校	6校	6校	6校
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
トランペット鼓隊等備品整備事業		1,943,120	1,959,005	1,900,000	1,737,538	1,800,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,943,120	1,959,005	1,900,000	1,737,538	1,800,000
直接事業費総額		1,943,120	1,959,005	1,900,000	1,737,538	1,800,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	19	5	19	19	19
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数		10			
人件費総額		361,000	163,000	361,000	361,000	361,000
総事業費計		2,304,120	2,122,005	2,261,000	2,098,538	2,161,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備楽器等の内容による。				
	元年度予算と2年度予算の比較	整備楽器等の内容による。				

**3 事務事業に関する自己診断(CHECK)**

事務事業遂行上の課題	各校の要望をしっかりと把握し、適切に更新等を行うこと。			
市民のニーズ・満足度				
連携事業				
関連事業				
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり			
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業			
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある			
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )			
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている			
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )			

**4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)**

事務事業実施による成果と課題	限られた予算の中でより有益な楽器整備を行えるよう各校と調整したい。		
次年度予算への見直し方針	各学校の要望の早期把握。		
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	計画的な整備に努める。		

**5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)**

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼	
	2年度の取り組み方針	学校間で効果的な予算配分を行い、計画的に整備を図る。		
	3年度以降の展開方針	各校の現状に応じて学校間で調整を行い、計画的に整備する。		

部長の確認所見	各学校の要望に基づき、計画的な整備を図る。
---------	-----------------------

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 307

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	吹奏楽部等楽器整備事業		担当部署	教育委員会総務課		
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備					▼
対象	赤穂・赤穂西・坂越中					
手段(方法)	老朽化に伴う楽器の修理及び更新					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	老朽化した楽器の修理及び更新整備を行うことにより、生徒の教育環境の向上と学習意欲を高め、円滑な演奏活動を実施する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	学校教育法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	生徒の教育環境の向上のため、老朽化した楽器の更新等を行う。					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。			達成状況	100 %
	30年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。			達成状況	100 %
	元年度計画	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行う。			達成状況	- %
	元年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。			達成状況	100 %
	2年度計画	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行う。			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
楽器の更新整備、修繕		3校	3校	3校	3校	3校
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
楽器の更新整備、修繕		3,578,626	2,961,659	2,900,000	2,778,092	2,700,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	3,578,626	2,961,659	2,900,000	2,778,092	2,700,000
直接事業費総額		3,578,626	2,961,659	2,900,000	2,778,092	2,700,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	19	5	19	19	19
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数		10			
人件費総額		361,000	163,000	361,000	361,000	361,000
総事業費計		3,939,626	3,124,659	3,261,000	3,139,092	3,061,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	購入する楽器等の内容による。				
	元年度予算と2年度予算の比較	購入する楽器等の内容による。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	各校の要望をしっかりと把握し、適切に更新等を行うこと。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	限られた予算の中でより有益な楽器整備を行えるよう各校と調整していきたい。
次年度予算への見直し方針	各学校の要望の早期把握
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 限られた予算の中で、効果的な整備に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 計画的に整備し、効果的な活用を図る。 3年度以降の展開方針 各学校の要望に基づき、年次的に整備する。
部長の確認所見	各学校の要望に基づき、計画的な整備を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 308

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	保健備品整備事業		担当部署	教育委員会総務課		
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備					▼
対象	小中学校					
手段(方法)	歯科、耳鼻科の健康診断の際に使用する保健備品の購入及び使用器具の滅菌をする。					
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金				
意図(ねらい)	備品整備を行うことにより、児童、生徒の教育環境の向上と学習意欲を高める。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務				
根拠法令・条例等	学校教育法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	児童生徒の健康管理の安全性を高めるため、備品の整備を適正に行う					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。			達成状況	100 %
	30年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。			達成状況	100 %
	元年度計画	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行う。			達成状況	- %
	元年度実績	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行った。			達成状況	100 %
	2年度計画	年次計画と学校からの要望に基づき整備を行う。			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
保健備品の購入等		小中学校15校	小中学校15校	小中学校15校	小中学校15校	小中学校15校
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
保健備品の購入等						
小学校		614,401	1,625,075	990,000	875,482	820,000
中学校		1,309,708	271,449	360,000	337,041	345,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,924,109	1,896,524	1,350,000	1,212,523	1,165,000
直接事業費 総額		1,924,109	1,896,524	1,350,000	1,212,523	1,165,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	12	5	19	19	19
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	7	10			
人件費 総額		274,900	163,000	361,000	361,000	361,000
総事業費 計		2,199,009	2,059,524	1,711,000	1,573,523	1,526,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	小学校5校デジタルオーゾメータを更新したため。				
	元年度予算と2年度予算の比較	児童生徒数の減によるもの				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)		
事務事業遂行上の課題	学校からの要望に対し、計画的な整備を行う。	
市民のニーズ・満足度		
連携事業		
関連事業		
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり	
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業	
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある	
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )	
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている	
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )	
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)		
事務事業実施による成果と課題	学校養護部会との調整とし、効果的な整備を行う。	
次年度予算への見直し方針		
関連部課等との協議状況		
関連部課		
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼	
	限られた予算の中で、効果的な整備に努める。	
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)		
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼	
	2年度の取り組み方針	各学校の要望に基づき、年次的に整備する。
	3年度以降の展開方針	各学校の要望に基づき、年次的に整備する。
部長の確認所見	各学校の要望に基づき、計画的な整備を図る。	

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 309

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	学校園植栽管理経費(小学校・中学校)	担当部署	教育委員会総務課
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備		
対象	小中学校		
手段(方法)	小中学校の植栽管理を行う		
手法(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	植栽管理を行うことにより、児童、生徒の教育環境の向上を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	学校教育法		
その他実施の根拠			
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	植栽管理を適正に行う。		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	植栽管理を適正に行った。	達成状況 100 %
	30年度実績	植栽管理を適正に行った。	達成状況 100 %
	元年度計画	植栽管理を適正に行う。	達成状況 - %
	元年度実績	植栽管理を適正に行った。	達成状況 100 %
	2年度計画	植栽管理を適正に行う。	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
植栽管理		15校	15校	15校	15校	15校
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
植栽管理委託						
小学校		3,058,074	2,811,445	2,850,000	2,598,282	3,100,000
中学校		2,733,782	2,793,538	2,850,000	2,524,687	2,900,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	5,791,856	5,604,983	5,700,000	5,122,969	6,000,000
直接事業費総額		5,791,856	5,604,983	5,700,000	5,122,969	6,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	12	12	12	12	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					12
人件費総額		228,000	228,000	228,000	228,000	82,800
総事業費計		6,019,856	5,832,983	5,928,000	5,350,969	6,082,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	実施内容の違いによる。				
	元年度予算と2年度予算の比較	実施内容の違いによる。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	学校からの要望に対し、迅速に実施する。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	年間計画により実施するとともに、職員による実施も含め、効率的な植栽管理を検討する。
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 効果的な管理に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 学校からの要望により適切に実施し、適正に施設を管理する。
	3年度以降の展開方針 学校からの要望を踏まえ、計画的に実施する。
部長の確認所見	学校要望を踏まえ、計画的に実施する。



# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 310

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	学校図書整備事業		担当部署	教育委員会総務課		
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備					▼
対象	小中学校					
手段(方法)	各校の図書担当者が選書し、図書の購入を行うとともに読書指導を行う					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	児童、生徒の読書活動の推進を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	学校図書館法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	学校図書館図書標準を、冊子の更新も含めて標準蔵書数達成を目指す					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	図書購入2,592冊		達成状況	100	%
	30年度実績	図書購入2,499冊		達成状況	100	%
	元年度計画	各校の要望に基づき整備する。		達成状況	-	%
	元年度実績	図書購入2,415冊		達成状況	100	%
	2年度計画	各校の要望に基づき整備する。		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
小学校図書購入		1,934冊	1,963冊		1,872冊	
中学校図書購入		658冊	536冊		543冊	
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
小学校図書購入		3,797,622	3,699,151	3,500,000	3,493,776	3,000,000
中学校図書購入		999,429	896,134	850,000	845,628	650,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,797,051	4,595,285	4,350,000	4,339,404	3,650,000
直接事業費総額		4,797,051	4,595,285	4,350,000	4,339,404	3,650,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	12	5	19	19	19
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数		10			
人件費総額		228,000	163,000	361,000	361,000	361,000
総事業費計		5,025,051	4,758,285	4,711,000	4,700,404	4,011,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備図書の違い				
	元年度予算と2年度予算の比較	整備図書の違い				

**3 事務事業に関する自己診断(CHECK)**

事務事業遂行上の課題	購入希望図書記入について、表記の統一をしないと取りまとめの際の手間取りとなるため、さらに徹底を図る。			
市民のニーズ・満足度				
連携事業				
関連事業				
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり			
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業			
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある			
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )			
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	3
	理由等所見欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている				
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )			

**4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)**

事務事業実施による成果と課題	図書標準の基準には達しているが、使用に耐えない図書の計画的な入替が必要		
次年度予算への見直し方針	学校要望及び購入時期の意見を聞き取りながら整備を進める。		
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	引き続き図書の更新を図り、整備を行いたい。		

**5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)**

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼	
	2年度の取り組み方針	図書の整備状況を踏まえ、計画的に図書を購入する。		
	3年度以降の展開方針	学校間の保有図書のバランスを図るため、計画的に図書を購入する。		
部長の確認所見	計画的な図書整備を図る。			

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 311

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資	<input checked="" type="checkbox"/> 臨時	<input type="checkbox"/> 経常
事務事業名称	理科教育等設備整備事業	担当部署		教育委員会総務課
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-学校施設の整備			
対象	小中学校			
手段(方法)	学習指導要綱の指導内容に沿った理科実験等設備を整備する。			
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	自然・科学の事象・現象について理解を図り、科学的な見方・考え方を養い、自ら学び・考える力を育成する。			
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務
根拠法令・条例等	理科教育振興法、理科教育設備等補助金交付要綱			
その他実施の根拠				
始期・終期	26	年度	～	年度
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	理科教育等設備整備基準額 小学校 10,341千円 中学校 22,344千円			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	必要備品の優先度による効果的な整備を図った。		達成状況 100 %
	30年度実績	必要備品の優先度による効果的な整備を図った。		達成状況 100 %
	元年度計画	必要備品の優先度による効果的な整備を図る。		達成状況 - %
	元年度実績	必要備品の優先度による効果的な整備を図った。		達成状況 100 %
	2年度計画	必要備品の優先度による効果的な整備を図る。		達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
細事業又は実施内容							
小学校 整備校数			10	10	10	10	10
中学校 整備校数			5	5	5	5	5
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算	
小学校整備事業費		2,347,548	2,375,268	2,400,000	2,266,750	2,300,000	
中学校整備事業費		2,095,758	2,063,668	2,000,000	1,990,385	1,900,000	
財源内訳	国県支出金	2,221,000	2,203,000	2,200,000	2,128,000	2,100,000	
	地方債						
	その他						
	一般財源	2,222,306	2,235,936	2,200,000	2,129,135	2,100,000	
直接事業費総額		4,443,306	4,438,936	4,400,000	4,257,135	4,200,000	
人件費:人日数	一般職員:人日数	24	10	24	24	24	
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数		10				
人件費総額		456,000	258,000	456,000	456,000	456,000	
総事業費計		4,899,306	4,696,936	4,856,000	4,713,135	4,656,000	
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備備品内容による。					
	元年度予算と2年度予算の比較	整備備品内容による。					

### 3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	学校より備品の購入希望が出てきた際、購入予定の備品の整備額が規定値を超えているか等を確認するのに時間を要する点				
市民のニーズ・満足度					
連携事業					
関連事業					
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり				
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業				
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある				
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )				
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	3	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている				
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄		
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入	1			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )					

### 4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	国庫補助金を利用して計画的な購入ができた。				
次年度予算への見直し方針	国庫補助金による補助があるため、利用頻度の高い実験用備品から購入するなど計画的な購入をし、児童・生徒が理科に対して興味と理解を深めることができるようにする。				
関連部課等との協議状況					
関連部課					
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)			▼
	購入にあたっては、出来るだけ頻度が高くかつ実験を通して理解を深めていくことが適当な実験用備品から整備を進めていく。				

### 5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )				
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)			▼
	2年度の取り組み方針	学校からの要望を踏まえ、計画的に整備し、効果的な活用を図る。			
	3年度以降の展開方針	備品の必要性を勘案し、優先的に整備を進める品目を絞ったうえで、計画的に実施する。			
部長の確認所見	計画的な整備を図る。				

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 312

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	部活動奨励費	担当部署	教育委員会総務課			
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-主体的に学ぶ意欲、態度、能力の形成とこころの教育の推進					▼
対象	体育、文化競技大会に参加する市立中学校生徒及び教員					
手段(方法)	市内大会、西播大会、県大会、近畿大会、全国大会に参加する生徒等の交通費、宿泊費及び昼食費を算定基準により補助する。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	競技大会参加に要する経費の一部を補助することにより、中学校における体育、文化の振興と保護者負担の軽減を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市中学校クラブ活動奨励費事業実施要綱					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	参加経費の適正な補助を行う					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	参加経費の適正な補助を行った			達成状況	100 %
	30年度実績	参加経費の適正な補助を行った			達成状況	100 %
	元年度計画	参加経費の適正な補助を行う			達成状況	- %
	元年度実績	参加経費の適正な補助を行った			達成状況	100 %
	2年度計画	参加経費の適正な補助を行う			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
奨励費		4,746,672	3,550,762	3,700,000	3,656,194	3,000,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
奨励費		4,746,672	3,550,762	3,700,000	3,656,194	3,000,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,746,672	3,550,762	3,700,000	3,656,194	3,000,000
直接事業費 総額		4,746,672	3,550,762	3,700,000	3,656,194	3,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	24	24	20	24	24
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		456,000	456,000	380,000	456,000	456,000
総事業費 計		5,202,672	4,006,762	4,080,000	4,112,194	3,456,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	近畿・全国大会に出場する生徒による。				
	元年度予算と2年度予算の比較	執行見込みによる。				

### 3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	県大会以上の大会に出場する生徒数の把握が予算要求時期にできないため、出場生徒が多くなれば補正対応となる。		
市民のニーズ・満足度	保護者からの実施要望がある。		
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		

### 4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	前年度実績等を参考に予算要求を行う。		
次年度予算への見直し方針			
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	近畿、全国大会の出場状況を把握し、円滑な事務処理を行う。		

### 5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	2年度の取り組み方針	中学校部活動の活性化と保護者負担を軽減するため、継続実施する。	
	3年度以降の展開方針	児童・生徒の減少に伴う部活動の状況も視野に入れ実施する。	

部長の確認所見	中学校における部活動の状況を踏まえ、体育・文化の振興のために実施する。
---------	-------------------------------------

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 554

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	通学費補助金	担当部署	教育委員会総務課
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-義務教育を充実する-主体的に学ぶ意欲、態度、能力の形成とこころの教育の推進 ▼		
対象	交通機関を利用して通学する児童及び3km以上の距離を通学する児童		
手段(方法)	通学に要する交通機関の定期代等を補助する		
手法(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	遠距離から交通機関を利用して通学する児童をもつ保護者の経済的負担の軽減を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市通学費補助金交付規則		
その他実施の根拠			
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	補助金を適正に執行する		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	補助金を適正に執行した	達成状況 100 %
	30年度実績	補助金を適正に執行した	達成状況 100 %
	元年度計画	補助金を適正に執行する	達成状況 - %
	元年度実績	補助金を適正に執行した	達成状況 100 %
	2年度計画	補助金を適正に執行する	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
補助金支給児童数		80	86	93	82	85
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
補助金		2,543,450	2,659,310	3,010,000	2,662,860	2,819,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,543,450	2,659,310	3,010,000	2,662,860	2,819,000
直接事業費総額		2,543,450	2,659,310	3,010,000	2,662,860	2,819,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	7	7	7	7	7
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		133,000	133,000	133,000	133,000	133,000
総事業費計		2,676,450	2,792,310	3,143,000	2,795,860	2,952,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	支給対象児童数の減による				
	元年度予算と2年度予算の比較	執行見込みによる				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	対象者の適正な把握
市民のニーズ・満足度	対象者のニーズは高い
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
手段の妥当性	下の該当番号を記入 ※複数可 4 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
事業費の効率性	
執行体制の効率性	
有効性	
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	26年度より原則5割補助から10割補助へ交付規則を一部改正し、保護者の経済的負担の軽減を図った。
次年度予算への見直し方針	対象者数の適正な把握に努める。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	10割補助の現状を維持する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 10割補助の現状を維持し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、対象者の適正な把握に努める。
	3年度以降の展開方針 継続的に実施する。
部長の確認所見	子育て支援の一環として継続実施する。